

雛松

第46号



平成27年3月5日

雛松会

大阪教育大学
附属天王寺小学校
〒545-0053
大阪市阿倍野区松崎町
1丁目2-45
TEL. 06(6621)0123

総会で会いましょう!

あべのハルカス・大阪マリオット都ホテルで開催



夢の大阪

みんなで考えました

69期(昭和25年卒)6年2組

座談会

・6・7面に掲載・

今年の第35回雛松会総会・懇親会は、昨年開業した「あべのハルカス」の「大阪マリオット都ホテル」で開催されます。

日本一のノッポビルからの景観は抜群。総会が始まる頃には、西に沈む夕日が見られるかもしれません。

4月11日(土)には、皆さん、総会・懇親会でお会いしましょう。



ひさしぶり～

第35回雛松会総会

★平成19年までに卒業の方

日時 平成27年4月11日(土)

PM6:30～8:30(PM6:00～受付)

場所 大阪マリオット都ホテル「茜」

(あべのハルカス 20階)

懇親会

〒542-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 TEL 06-6628-6100

■JR天王寺駅・地下鉄天王寺駅・近鉄大阪阿倍野橋駅直結



奮って
ご参加を

内容 ◎議事(挨拶ほか) ◎乾杯 ◎懇親 ◎アトラクション

会費 7,000円

※同封の出欠返信はがきで3月30日までに返信ください。

お問い合わせやご出欠の返信は雛松会ホームページ上でも受付けております。

<http://www.hinamatsu.com/>

雛松ジュニア会

★平成20年卒～平成27年卒の人

日時 平成27年3月25日(水)

AM10:00～12:00

場所 母校(附属天王寺小学校)

内容

- ◎議事
- ◎アトラクション
- ◎年次毎の同窓会

恩師や友人とのなつかしいお話、運動場でのスポーツ、楽しいお店も開きます。

<主な記事>

- ◆雛松会総会・ジュニア会のご案内……………1面
- ◆名誉会長・会長挨拶……………2面
- ◆附小NOW、転出された先生方……………3面
- ◆文楽親子劇場・近況報告……………4面

- ◆成人式&同窓会……………5面
- ◆座談会「夢の大阪」を作る……………6・7面
- ◆年会費納入者一覧……………8面

英語や ICT 教育への期待膨らむ



雑松会名誉会長
大阪教育大学
附属天王寺小学校校長
日野 宏典

我々はどのような場 所で学んできたのか

水野 恵司

附属天王寺小学校は明治10年(1877年)に大阪府天王寺区南河堀町を経て現在の阿倍野区松崎町に移転した。周知のとおり、天王寺区南河堀町を経て現在の阿倍野区松崎町に移転したが、それぞれの時期に学校がどのような場所であったか。周年記念誌「五松」や古地図などを参考に地理学的に考えてみた。

師範学校は1844年に開校したが、市内の寺院に開校した後、中之島の旧

久留米藩の蔵屋敷跡に新築された。この頃、大阪の市街地は現在の中央区と北区南端部、西区東部に限られていた。大阪市人口はわずか36万人であった。市街地の北西縁辺部に位置する中之島を挟む堂島川と土佐堀川沿いには、江戸時代には各藩の蔵屋敷が密集していた。蔵屋敷は廃藩置県後、新政府に移管され、一般に払い下げられた。明治初期、中之島周辺は大阪市街の再開発地にあたる。その後、

設や高級住宅地は、天王寺区や阿倍野区方面に土地を求めたことになる。その後大正、昭和と時代が流れ、大阪は商工業都市として拡大し、周辺町村を合併して人口200万人を超える。移転当初通学路で田畑に飛ぶ鳥や虫を追っていた子どもたちは、急速な周辺の市街地化を見ただろう。

戦後復興していた時代であり、地価の急上昇が始まろうとしていた。この当時の校長、教頭はじめ関係の方々も、教頭探しの大変苦労された。そのおかげで、地盤が良好で学に近く、交通網中心に隣接した場所を得ることができた。その後大阪都市圏は拡大し、経済活動が活発化し、交通網はさらに発達した。それと共に本校周辺の土地利用が高度化した。結果として本校には広範囲に居住する子どもたちが通うことができ、大学との連携も強く、研究会、協議会など教育関係者の交流も活発に展開することができた。本校の地理的位置はその後の本校での教育・研究発展の基礎となったといえる。

以上、本校の歴史が大阪の都市発展と関連してきたことを述べた。今後これまでに経験のない人口減少の時代となる。子どもは少なくなり、町の様子も一変するだろう。その時代、大学および本校はどのような場所にあるべきだろうか。同窓生の皆様、大学と附属学校の将来像を描く上で、各界に活躍する皆様方から多様な御意見を頂くことが大事と思っています。本校へのさらなる支援をお願いいたします。



雑松会会長
(昭和36年卒)
西川 雅夫

コミュニケーション 力を携えた雑松会

西川 雅夫

雑松会も本年で創立138年を迎えます。明治10年7月(1877年)に大阪府師範学校附属演習小学校として創立され、今日に至るまで11,200名を超える卒業生を送り出して参りました。これからも、歴史を伝統に培われた気品、個性豊かな活動力、時代を生きたコミュニケーション力を携えた雑松会、同様に結実を固め、世界に向けてグローバルに、次世代に渡り永く「活躍され

ます」とを期待申し上げる次第でございます。今年はずっと穏やかな性格の年と言いますが、何か起るとわかっておられる12月12日(祝日)に、今年初め、イスラム国の問題をほはじめ、ギリシャの財政不安によるユーロの動きや、石油価格の大幅な下落によるロシア、ベネズエラの動き、スカイマークの民事再生等、思わぬ出来事が次々と急襲に起っております。

なんと申ししても、輸出をしていない企業が全体の85%である日本の中で、大企業を優遇させるを得ないというアベノミクスは注視すべきところだと思っております。グローバルな国際競争に勝つには、当然日本経済の要である大企業の増強が先決問題であり、そのためには国全体をまずは強化し、その後国民全員をハッピーにするというトリクルダウン方式がとられていくと認識せざるを得ない

状況だと思っております。さて、雑松会としての近況報告を致します。母校のプール改修工事を大学に要望し、済みましたが、いよいよ業者も決まりましたが、プールの開きには間に合わずに着手致します。また、ICT教育として大学からタブレットが支給され、授業で活用され始めました。社会・総合では、調べ学習で色々なことをインターネットで調べ、理科では、インターネットを使った、実験をビデオで撮影したりしています。図工では、カメラ機能を使って、写真を撮ったり、加工したりしてありますが、指導者(先生)よりも、むしろ子どもの方が使いこなしている感じがします。英語教育では、6年生が週1時間、外国語活動として授業を行っています。今年も、附属中学校との連携を図るために、小学校、中学校の互いの授業を参観を実施しました。本校では今後、低学年、中学年でも英語の授業を取り入れる時代がくるかも分りません。以上が山手副校長からお伺いした小学校の現状でございます。

心技体をモットーとする附属の教育方針の本質は変わらぬものの、その内容が大きく左右される時期だと言われています。戦後70年のアメリカと共に作られた教育基本指針を今こそ見直す時で、知識を詰め込む教育から脱して、フィナンシャルのような知恵を自ら育む教育をめざし、個性豊かな人づくりをモットーに、附属の良さが十分生かされた人材が生まれることを念じております。

結びに、雑松会の皆様のご健勝と、活躍を祈念申し上げますと共に、当会の上げますとお願い申し上げます。

計報

次の1年間
恩師の先方
におおくりな
にあらためし
た。慎んでお
げますとも
に心から哀
しみます。

浦江 陸郎先生 (因幡工作)
昭和45年
平成26年2月
ご逝去

好児先生 (算数)
昭和60年
平成26年12月
ご逝去

平成26年3月

「ペンケース」

134期卒業生記念品

雑松会では、毎年卒業生に記念品を贈呈していますが、本年度134期卒業生には、写真の「ペンケース」を贈ることになり、卒業式当日に、卒業生全員に渡されます。



雑松会 ホームページ

http://www.hinamatsu.com/

総会・懇親会の案内や雑松会の歩み、役員と各期幹事、会費・協賛金の案内、そして会報のバックナンバーもご覧いただけます。是非「お気に入り」に入れて、時々雑松会のことを思い出して下さい!



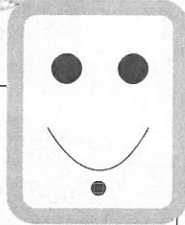


附小NOW近況報告

附天小雑松会担当 小高 大輔

iPadが

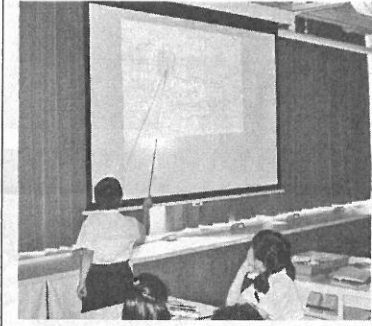
導入された



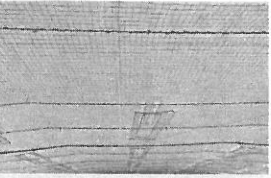
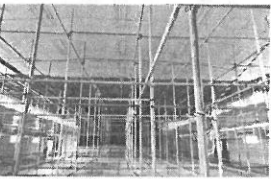
本年度から、iPad48台

が導入されました

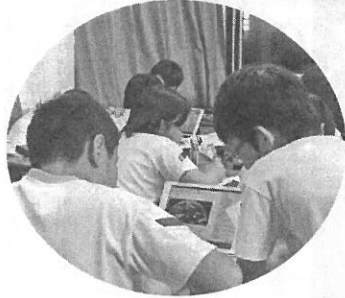
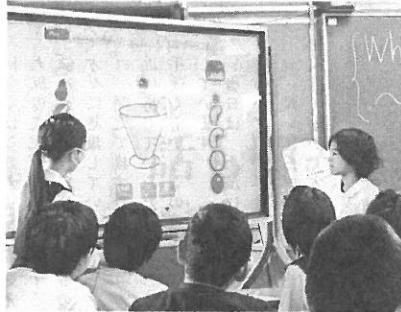
本年度から、iPad48台が導入されました。インターネットを使い調べたり、記録やふり返し、共有の道具としてカメラやビデオの機能を使ったりしています。また、様々なICT機器が導入され、授業の中で使われています。



防災に取り組んでいます。



阪神淡路大震災から20年。子どもたちを守るため、緊急地震速報の受信機を新しくしたり、講堂の天井板落下防止のネットをはずしたり、地震の避難訓練をしたりと、防災に取り組んでいます。



授業で大活躍!!



八尾市立高美南小学校へ転出

一年間という本当に短い間でしたが、附属天王寺小学校で多くの事を経験させて頂くことも大変お世話になりました。附属天王寺小学校を離れて約10ヶ月が経とうとしています。附属天王寺小学校で過ごしたたくさんの日々を思い出します。

担当していた3年生が行った高野山への林間学習では、世界遺産に登録された高野山の街並みや自然の雄大な風景が重宝されてきた歴史の重みを感じたことも一緒に感じる事が出来ました。委員会では、本番に向けて、みんなで作り上げるという気持ちをもってお祈りをし、教え合いながら一生懸命練習をする姿に私自身が後

大切な思い出

谷本葉央 先生
 〈音楽科〉
 (平成25年4月~平成26年3月)



感謝

太田雄久 先生
 〈理科〉
 (平成18年4月~平成26年3月)



和泉市立国府小学校へ転出

私は平成18年10月の8年間、附属天王寺小学校で勤務してまいりました。思い出を振り返ると、たくさんの方々に支えられていた8年間だったと、今改めて思います。

まずは、先輩の先生方です。教職5年目に附小に着任し、若さだけで何とかならなくて悩んでいた私に、授業、学級経営、校務など、教師の資質・能力に關わるたくさんのアドバイスを指導して下さいました。中でも、一番心に残っているのは、理科部の先輩の「がんばりや」という言葉です。研究授業前、運動会や学芸会の練習が始まる前には必ず「がんばりや」と声をかけて下さいました。当時は深く考えず「ありがたう」だけ言っていました。今は「がんばりや」と答えていたのですが、今になって思うのが、「がんばりや」には「何を」どのように「がんばるのか」は自分でもしっかり考えて、おなさらしく「がんばりや」というメッセージが込められていたのではないかと思います。

次は、保護者の皆様です。月に1回の学習参観、学校集

会のたびに熱心に附小まで足を運んで下さいました。また、PTAの各種委員会やクラブ等でも附小のためにサポート、協力下さいました。附小を自分の母校のように大切に思い、そして支えて下さったこと、本当に感謝しております。

そして、附小の子どもたち。日々の授業はもちろん、臨海学習、運動会、学芸会など、何事にも一生懸命に取り組んでいた姿は忘れません。特に、理科の授業で、真剣に観察や実験に取り組んでいる姿や自分の予想が正しいと証明できたときのうれしそうなお顔は、本当に素敵でした。そんなみなさんが大好きでした。

最後になりましたが、雑松会の皆様。卒業後もいつも附小のためにご尽力賜りまして本当にありがとうございました。ご縁があって、在職中に校務の雑松会担当の仕事に数年間担わせていただきました。総会、幹事会をはじめ、さまざまな場面で雑松会の方と関わらせていただきました。また、母校をいまでも大切に思って下さっていること、また附小のために様々な場面で協力下さっていることを知り、また、雑松会を通じて、自分自身もがんばらねば日々考えさせられました。

このように、たくさんの方々に支えられながらの8年間でした。この8年間、附小で学んで成長させてくれたことができた附属天王寺小学校、そして附属天王寺小学校に関わってくださったみなさんの方に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

最後にになりましたが、大阪教育大学附属天王寺小学校と雑松会の皆様と、皆様の御多幸を心からお祈り申し上げます。

押され元気が勇気をもったことを思い出します。

また、新しいことへの出会いをキラキラと輝かせ、探求しようとする姿や発見したことを嬉しそうに話している顔、悔し涙を流しながらも最後までやり切っていく姿など、日々のふとした子どもたちの言葉や表情が目に浮かびます。そして、附属天王寺小学校の子どもたちの自立学習姿勢には、いつも驚かされました。

私が教員になつたばかりの頃に子どもたちに伝えてきたこと(1)、周りの友だちほかけがえのない大切な存在であると共に、自分ひとりがかけがえのない大切な存在である。友だちのことも、自分のことも大切にできる人になろうと教訓を授けました。そんな私の思いをしっかりと受け止めて、クラスの仲間や学年の仲間の思いを相手に伝えようとしていた子どもたちは、自分の思いを相手に伝えようとしていた。心の優しい素敵な子どもたちも出てきました。これらの思い出を大切にさせてくれる保護者の方々、雑松会の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、大阪教育大学附属天王寺小学校と雑松会の皆様の御多幸を心からお祈り申し上げます。

文楽親子劇場

平成26年10月22日開催(附小 講堂)

お題『五条橋』

皆さん目がキラキラでした



平成16年卒 大喜多 円
平成26年10月22日、附属天王寺小学校の講堂において、離松会主催・教育後援会協賛による「文楽親子劇場」が開催されました。公演は低学年と高学年に分かれ、午前・午後の2回行われ、生徒や保護者の方々など、大勢の人に楽しんで頂きました。
ユネスコ文化遺産に指定されている人形浄瑠璃文楽ですが、中々鑑賞する機会に恵まれないのが残念な事です。離松会ではこの素晴らしい地元大阪の文化、日本を代表する伝統芸能を生徒や保護者の方々に認識していただくと共に、間近で接する事でより身近に感じていただく為に、30年近く前からこの催しを開催しています。

当日は、上演に先立ち文楽についての簡単な説明が行われ、続いて三味線の弾き方や人形の動かし方を教えていただきました。実際に生徒や保護者が体験するというコーナーもあり、文楽を少し身近に感じてもらうのではないかと感じました。体験コーナーの後、公演が始まりました。今回のお題は「五条橋」で、木で読んだり時代劇で見たことのある若丸と弁慶のお話で、大変馴染み深い内容でした。皆さん、生きているかのような人形の動きに目をキラキラさせながら夢中で見入っていて、あっという間に時間が過ぎていきました。
離松会では、今後もこの行事を出来る限り続けて行きたいと思っております。6年に一度の開催ですので、附小生全員が卒業するまでに必ず講堂で文楽を鑑賞している事になります。卒業後、ふとした折に思い出し、懐かしい同級生達と一緒に劇場に足を運んでみるのもいいのではないのでしょうか？



級・友・か・ら・の

近況報告

エ・ト・セ・ト・ラ

昭和11年卒 大西 英子(旧姓福井) 満90歳をすぎました。天附小に学んだ縁での級友の方々に今も友情を温めつつあります。
昭和13年卒 柳本 千賀(旧姓吉田) 2月2日、平成26年元氣に米寿を迎えました。懐かしくお祝いを拝見致しました。娘の家の近くに、引越して参りました。
昭和15年卒 岩山 久子(旧姓石田) 大阪教育大附属小学校卒のおかげで現在があります。有難いことです。
昭和17年卒 上田 誠也 老境ですが生きてはいます。一度は離松会の会合に出たいものです。
昭和21年卒 小川 やす子(旧姓万年) 何時も色々お世話になり厚く御礼申し上げます。同窓会のお知らせうれしく思っています。
昭和24年卒 小野功雄さん

昭和29年卒 奥尾 三紗子(旧姓山本) 離松会誌を楽しく拝読しております。母校の誇りを大切にして、現在教壇に立つてフアッシュンを教えています。増々の御発展をお祈り申し上げます。
昭和34年卒 高田 正良 卒業後ずっと連絡不明になっていましたが、事務局のお陰で、55年ぶりにクラスの人に連絡がつくようになりましたので、次回からのクラス会には是非かきいの方々にお会いして旧交を温めたいと思っております。今後とぞお話しさせていただきます。
昭和43年卒 秋田 光彦 昨年(平成25年)4月に新たに学校法人を設立しました。正式には学校法人連光学園パドマ幼稚園となりました。幼稚園としてはおかげさまで平成25年度に創立60周年を迎えました。
平成16年卒 森田 あやね 4月から実家を離れ、東京でOLとして社会生活をスタートさせます。初の一人暮らし、不安もありますが、就きたかった職なので、精一杯楽しんで働きたいと思っています。

平成25年卒 金 悠支 平成25年4月に附中に入學しました。文武両道を目標に日々励んでいます。

雅楽 小野さん恩賜賞
の野穂さん(68)の4人を選んだと発表しました。小野さんには、特に顕著な業績を挙げたとして、恩賜も贈る。授賞式は7月1日に東京の帝国ホテルで行った。
今回の表彰賞は、美術部門の選考が見送られた。
日本芸術院賞受賞理由
▽第3部(音楽・演劇・舞踊) 文楽人形浄瑠璃(舞踊) 小野功雄(77) 離松会創立50周年の演奏と舞楽、文化功徳を高められた功績。大阪府生まれ。香川晴晴(80)、熊栄(82)と、同窓の雅楽の発展に努力して活躍。熊栄の雅楽に指導し、熊栄の雅楽の発展に努力して活躍。

芸術院賞に4人決定
日本芸術院(三浦東門院)は21日、優れた作品を創作した人や芸術の進歩に貢献した人に贈る2013年度「日本芸術院賞」に、雅楽の小野功雄さん(77)、熊栄さん(80)、文楽人形浄瑠璃の吉田玉女(女名、大西聡さん)(66)、ピアノスト

が海外で活躍しています。平成27年6月21日月、大阪狭山市文化会館SAYAKAホールで第3回「My Dream」特別公演を開催します。
平成25年4月に附中に入學しました。文武両道を目標に日々励んでいます。

第2回 お茶を楽しむ会 雛松

季秋の頃秋も深まる平成26年11月8日(土)、第2回目となる「雛松会 お茶を楽しむ会」が催されました。今回は附小PTA副会長の方々をお迎えし、雛松会との交流茶会となりました。以前掲載された「第1回・お茶を楽しむ会」の記事をご覧になった方が、お茶が初めての方でも楽しく参加でき、さらに親睦を深められる、そんな楽しいお茶会があるなら自分達もぜひ参加してみたい、というメッセージを雛松会に届けて下さったのがきっかけとなり、この会が実現されました。

当日参加者は最初、待合の部屋に集まり、紅葉を詠った短冊を眺めながらお目当てをいただき、支度を整えてから書院茶室に通りました。順に席入りし、床の間の紀貫之「白露も時雨もいたくもる山は下葉残らず色」にけり「の懐紙や、青磁の花入れに生けつれた照葉と白樺を拝見しつづ席に着くと、菊きり高台寺時絵の喰籠に「小倉山」という銘の秋らしいきんとん、干菓子はこの時期にしかない京都鎌善の秋色色々「菊寿糖」と長久堂の「露餅」、そしてお茶は表千家当代家元御好みの「一珠の白」柳楼園詰が用意され、お菓子やお道具で秋を楽しむ工夫がされていました。お点前は雛松会新任幹事の大喜多円さん(平成16年卒)、亭主進行役は雛松会幹事・表千家講師の首藤久美さん(昭和58年卒)にお願いし、始まりました。

今回もお菓子の取り方、頂き方、お茶碗の扱い方、お道具の拝見の仕方など、お茶室のマナーを詳しく教えていただきました。最初は緊張気味だった皆さんも、附属小学校という縁があったかすくすに打ち解け、色々とお話をし、笑顔のこぼれる会となりました。今回お客様をお迎えしたPTA副会長の方々は、附小の保護者を代表し、学校のために奉仕された支えてくれた方々ばかりであり、美しさ、品格を兼ね備えた素敵な方々ばかりでした。着物姿も華やかで、お茶室に咲いた花が咲いたように感じました。今回集まった参加者のお一人は、「年次は

話も弾み花が咲く



違えども、附属のあたたかい空気の中で話も弾み大変楽しかったです。」と感想のお言葉を下さいました。

「これからも附属天王寺小学校にご縁のある方々と、今回のようにお茶を通して交流し、楽しい時間を過ごせる機会があれば良いと思います。紙面をお借りしまして、この会の良きアドバイザーとしてご参加下さいました表千家教授・衣笠桂子先生(昭和25年卒)に御礼申し上げます。最後に、お集まりいただいた皆様、ご挨拶もありがとうございました。」



同期会フラッシュ 成人式&同窓会だよ!!

50人参加

全員集合

平成27年1月12日(月)阪急ターミナルビル17階

平成27年1月12日(月)成人の日、梅田にある阪急ターミナルビル17階ターミナルスクエア 藤の間にいて、大阪教育大学附属天王寺小学校126期(平成19年卒)同窓会が開かれました。

参加人数は約50名ほどでしたが、わざわざ遠方から駆けつけてくれた人もいて、再会を喜び合いました。

顔を見ただけで、「あー○○くん!!」とか、顔を見ても恰好よくなりすぎや?、美しくなりすぎや?と誰だか分からない人もいたりして…(笑)

久しぶりの再会に懐かしさと、戸惑いを感じつつ、同窓会の始まりを待っていると、そこへ5、6年時の担任の先生方、西川先生、鈴木先生、片山先生の姿が!!

「わー皆すっかり大きくなって

!。道で会っても分からないかも」と第一声

昔とちっとも変わらない先生方の笑顔に、少し硬さもあつた皆の顔が一気にほころびました。

先生方と写真を撮ったり、近況報告をしたりするうち、気分はずっかり小6に…

当時のあだ名が飛び出したり、運動会や学芸会、普段の授業や休憩時間の何気ない思い出が次々と皆の口から出てきて、やっぱり附小っていいなと感じられた時間でした。

お忙しい中、私達126期生の為にお越し下さった先生方に感謝するとともに、これから私達が一人前の成人として、そして附属天王寺小学校の卒業生として立派に成長していくことが、支え、育てて下さった先生方へのご恩返しになると改めて身の引き締まる思いの一日でした。本当に有難うございました。



(平成19年卒)



お知らせ

●同期会を開催される「期」には、雛松会から2万円の同期会開催補助費を支給させて頂きます。つきましては、会報への同期会開催記事と集合写真の出稿と引き換えとなりますので、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

雛松会事務局まで雛松会ホームページから又はFAXにてご連絡下さい。(FAX06-6771-6116)

69期(昭和25年卒) 6年2組

座談会

太平洋戦争まっ只中の昭和19年に入学され、戦中・戦後までもなくの激動の中で附小時代を過ごされた69期(昭和25年卒) 6年2組の皆様にお集まり頂き、当時の様子や寝食を共にした集団疎開のこと、先進的な授業、そしてみんなで作った「夢の大阪」について大いに語って頂きました。

● 出席者 ●

- 塩路 友恵 旧姓 山中 S25年卒
- 安達 幸子 旧姓 萩果 S25年卒
- 衣笠 桂子 旧姓 金若 S25年卒
- 芳武 努 S50年卒
- 首藤 久美(旧姓 中辻) S58年卒



夢の大阪

みんなで考えました

戦中まっ只中の入学

— 今日、とても仲がいいと評判の、昭和25年(卒業の6年2組)の皆さんにお集まり頂き、附小時代のいろんなお話を伺いたいと思います。

最初に、お集まり頂いた3人の皆さんから自己紹介をお願いします。

塩路 塩路友恵です。旧姓山中です。

安達 安達幸子です。旧姓萩果です。

衣笠 衣笠桂子です。旧姓金若です。よろしくお願います。

— 昭和25年の卒業ですから、入学は昭和19年ということで、戦中まっ只中の時に入学されて、戦中戦後と激動の中を過ごされたと思いますが、入学の頃から順にお話頂けますでしょうか。

塩路 入学は国民学校で入学しました。大阪第一師範学校男子部附属国民学校です。

— 男子部附属なんですか。

安達 平野がありましたから、本校は男子だけです。

— この時は共学でしたか。

塩路 2年の時に終戦なんですけど、3年までは女子組男子組。4年生から男女共学になって1クラスずつでした。

こんな いいなあ 授業で『大阪復興』

かん。何でって聞いたら、馬の水飲み場だからって。塩路 そんな時代です。

— 天王寺でも寺田町でもどちらの駅でもいいんですか。

塩路 国鉄は寺田町で降りたほうが早かった。

— 今の環状線は首線って呼ばれていて、それから城東線に変わった。

— 制服がなく、藁草履を履いたりしていたとお聞きしました。

安達 ワンピースを着る子もいました。

— 制服は親が縫って用意したり、それがなかったら親が作った服を着たのですか。

塩路 別に規則はきつくなかったね。ブラウスもわりと自由で。チョッキは着ても下に白いセーターを着てたりしていました。

— 制服はあってもわりに自由だったのですね。

塩路 自由だったね。

— カバンは?

塩路 ランドセル。うしろに「師附」の判が押しあ

— 我々は「学附」でした。今も学附です。

安達 給食なんかも父兄が来て作って。だから親同士がすごく仲が良かったんです。

— 給食の係の人っていなかったんですか。

塩路 父兄が全部作る。

安達 給食のおばさんなんていなかった。

衣笠 それから父兄会が多かったね。毎月。

安達 授業参観やね。

塩路 とにかく来てね。

— 私なんか兄弟多いし、親が来れなかったから姉が来た。

— 今よりはるかに教育熱心ですね。

安達 学校に協力してね。進学どしに行くっていうのはなしに、わいわいやがや言っていましたね。父兄が仲よかったです。

塩路 顔をみんな知ってたのね。

集団疎開そして終戦

— ちょうど2年生の8月に終戦だと思っただけですけど、その前に疎開されていたとお聞きしたんです。

衣笠 集団疎開は、私は河内長野の「楠庇庵(なんびあん)」というところに行きました。楠正成さんの奥さんが出家して建てたところですよ。

— 山の上に寮があったんですか、ずっと歩いて行って、川の水で顔を洗っていました。お風呂っていうと、みんなバケツリレーで上級生から下級生まで、みんな山の上まで水を運んでお風呂に入った。



— 川の水を汲むのが大変だから、保護者がみんな寄付をして井戸を掘るっていう話を聞きました。

衣笠 井戸を掘るのに、口500円で学校への寄付がありました。その当時の2口、3口やれる人はすごいなっていました。

— もちろん親からは、みんな離れていたんですね。

衣笠 17日が面会日、何か食べるものを持ってきてもらうのが楽しみで、隠して食べてました。

— 集団疎開で「楠庇庵」に行かれたのは何人くらいですか。

衣笠 男女合わせて30人はいなかったと思います。1学年90人ほどでしたから、3分の1くらいですね。

塩路 縁故疎開が多かったです。

— 縁故疎開と集団疎開って違いますか。

塩路 全然違うわね。私は家から通ってましたからね。

安達 縁故疎開してそのまま終戦になってからも復興してないし戻ってこない人もいました。

— 学校にいた先生が何人かついて行かれましたか。

安達 泉先生とか成田先生、佐野先生、黒松先生。

衣笠 私は佐野先生のクラスで、黒松先生がお習字を教えてくださいました。

— しっかり勉強もされましたか。

衣笠 集団疎開は真面目でした。

— 俳句っていつの頃を知らなくて、5・7・5で季節を入

れて自分の思ったことで作りなさいと言われて、自分の思いを私に覚せてくれるけれど、「おおおかげ木のゆれてゆれて」と書いて書いた。

塩路 すい優秀。

衣笠 そうしたら佐野先生がスッと笑いはった。

— 食事とかはどんな感じでしたか。

衣笠 食事はお昼はコーリヤンごはんとかじゃがいがもがとって、夕飯はごはんがとって、おかゆはほとんど書いてあった。おにいじいさんは頂いて、お父さんお母さん有難うございますって合掌して、それから頂くんですね。塩路 「著とらばわが御君の恵み祖先や父母の恩をわすれず」ってお祈りして給食を食べました。

遠足で山に連れて行くこともなく、おかげさんよりちよこと堅い目のごはんを持って、行ってみの実を探って食べたりもしました。

— 終戦のときはどうでしたか。

衣笠 8月15日「12時に玉音があるのよ、きつんとした服装で」と声がかかった。疎開していたので、意味はわからなかったのですが、

塩路 2年の夏休み、いいお天気の暑い日やった。

— 終戦の後、それぞれわかれわかれ帰っていられたのですか。

安達 私は9月27日にトラックに乗って帰ったんですけど、その時に備蓄していた鞋の履物とかを、明日帰るといって全部閉じて、すまき風にして頂いて、今日はすまき風で帰ってこられました。

— 縁故疎開の人も帰ってきませんでしたか。

塩路 私は1年の学期から疎開して2年の2学期に帰って来ました。だいた1年ぐらいでしたね。

— 一方の方は復興されずに帰って来なかったけれども、ほとんとは帰って来られて2年生の9月頃には元に戻ったというんですね。

塩路 その特別に試験を受けて、大分入ってきたものですね。

— 先生方は元のまま戻ってこられましたか。

塩路 あの先生帰ってこなかったというのはいなかったね。

進んだ取り組み、自由な授業

— その後はどんな授業をしたか。

衣笠 一応教科書はありましたね。

安達 クラスの担任の先生によってクラスの勉強の仕方が違っていました。緒ととはなかったからね。隣が一生懸命勉強して、こっちには遊びに連れて行くのも自由。

塩路 造船所に行ってみたりね。うかがったらそ

こに行くと、消防署や気象台、森永に行くと船をもらったり、セルロイドへ行くと下敷きももらった、百貨店の見学にも行きました。— 校外に行くことも多かったんですね。

衣笠 斉藤勇先生のあのクラスだけ。

塩路 遠足は父兄同伴でした。

安達 あやめ池の遊園地とか三笠山とか。

塩路 修学旅行は瀬戸八丁。那智。授業が終わって卒業式済んでからいった。あの時代は行ったらあか

んことになっていた。

— 白浜も回って、勝浦で泊まって2泊3日でした。新宮から瀬戸八丁。プロペラ船の途中、途中で水かかって歩かされて。プロペラ船が動かなくて歩かされて。

安達 日帰りでお伊勢さんにも行きました。

— 他の公立の学校に比べたら、遠足にしても修学旅行にしても行事が一杯ですね。

衣笠 校外学習が多かったのは組だけですか。2組は特殊ですね。

安達 1組は勉強して、林重男先生は真面目で。

— 体育とか運動会や組体操とかあったんですか。

安達 男の子はしてたね。私はお遊戯といつか、フォークダンス。

— 私の時はちよちんフルマーだったんですが、当時はどうでしたか。

塩路 フルマーやったけど、ちよちんフルマーではなかった。普通のフルマー。

衣笠 終戦後、物資がなかったから、いろいろのことで、きまりが無かった。

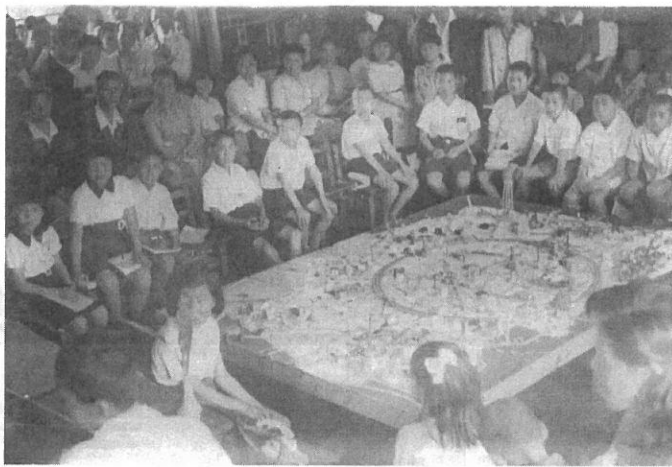
— 他にはどんなことをされましたか。

衣笠 教科書でペーパークラフトとかという記憶は無いんですけど、地球儀を作ったり、それから国会をやった。総理大臣を選んで、三権分立を実際に行ったりして。

衣笠 橋本君が総理大臣。衆議院と参議院と司法行政。黒板の上には「自由責任」って書かれた額がありました。

— すばらしい教育ですね。

衣笠 地球儀も作りました。竹ひごみたいなのをまず組



研究発表会 他校からたくさんの先生方が見学に来られました

もなかった。

— 先生が子どもたちに大阪の復興を考えたというので

ですね。

塩路 口出しは全然なくて、好きなようにしていいって

安達 クラスの全員がやるの。嫌な子はいなくて、皆が楽しんで参加していたね。

衣笠 こんなビルが出来たらいいなって。

— あべのハルカスみたいなのが出来るとは、当時は夢

にも思わなかったでしょうね。

塩路 何でも出来過ぎて、今の子やたら作る材料がないと連呼。

— その頃に300メートルの塔があったらと考えた人

いませんか。

衣笠 東淀川区から住吉区までロープウェイ。丸いのが環状線。

— 環状線が高架上を通っていますね。

衣笠 名古屋の愛知万博へ行った時に、会場が広いからこんな会場の模型があって、こんな小学校の時作って

なって思いました。

安達 この写真は研究発表会、よその学校の先生がよ

来てはった。これだけでなしに、普通の授業の時も。

— 附属は元々そういう学校ですね。

塩路 大学生が今でも先生で来るの？

衣笠 今は教育実習って2週間くらいやけど、私らの時はずっと副担任という形でいてはりました。

安達 その先生のほうが勉強を教わった。

塩路 これが大阪の地図。

衣笠 地図だけ先生が書いてくれたって、後は私たちが作っていった。

— 皆さんがものすごく楽しんでくれたというのですが、苦労したことはありませんか。

塩路 苦労したことは別になかったですね。

— 楽しんで次々アイデアが出てきたと。一日中これや

ってばっかですか。

安達 だって勉強出来ないじゃない。机がないんだから。写真を撮るために椅子だけ持ってきてた。

— それで評判になって新聞社が来たんですか。

塩路 先生の勉強会、研究発表会があった後と違うかな。みんな見に来ている。

— 先生たちが見に来られて、それぞれの生徒が説明するんですか。

安達 そうそう。緑みみたいなのがたくさんあるよ。

衣笠 新聞紙で絵の具塗って、ビルもあるよ。

安達 環状線っていつ頃出来たかな。

塩路 これが出来上がった時は、まだ無かったもの。通天閣は戦争でなくなると、天王寺で復興博覧会ってあったんですよ。4年生くらいの時かな。

— これを作られた時はまだ通天閣は無かったのですか。

塩路 無かった。だから作っていません。

衣笠 実現したのは環状線ってことね。

安達 城東線って大阪から天王寺の東側です。

塩路 こっちのほうが先から。

— 誰かがこれを参考にした感じですね。

安達 新聞に載せてくれたから。

— その新聞記事は残っていませんか。

衣笠 朝日新聞が来たとは思いませんよ。

— 環状線以外に実現したものはない。

安達 ビルも無かったしね。焼け跡やたらからね。

衣笠 作るのが楽しかった。大阪をどうしたいかというのはいない。

— すごく楽しかったですね。聞いてるだけで。

— 隣のクラスの人たちは羨ましがってませんでしたか。

衣笠 ううんって言われた。

安達 どの教室にもオルガンがなかった。だから中央公会堂でもって行きました。

— 先生が好きやったんで、真田小学校に歌うたいに行ったり。

衣笠 うちの教室だけオルガンがあったんです。

塩路 ヘレン・ケラーさんが来た時に近鉄のデパートの交差点のとこまでお迎えに行くと、ヘレン・ケラーさんに歌を歌いました。

衣笠 私がオルガン弾いてみんなが歌って、その日が始まるんですよ。教室にオルガンがあったのは6年2組だけなんです。

安達 クラスでソフトボール大会もよくやってたよね。

衣笠 6年2組のクラス会は、2人ずつ幹事でいまだに続いています。

— 一番の種まきをしたのは斎藤先生ですね。先生たちともそれだけ繋がりがあったから。

塩路 父兄と先生ともいい繋がりがあったしね。

— 今の附属にもあったらいいなと思いますね。

塩路 何かあったら寄ってやったらいい。

— 附属は伝統的にそれですって思っていますよ。

塩路 いい思い出だね。この歳になっても思い出して仲良くして。

— 附属の友達ってみんな仲いいですよ。

安達 みんな仲いいけれど特に私たちはね。

— 今日はいくつと貴重な楽しいお話を聞かせていただき、本当にありがとうございました。

